



2012年3月26日

報道関係者各位

株式会社ツバルの森

一般個人投資家の株式投資に対する投資行動に関する調査

- ◎投資先企業の選別志向が高まっている
「業績や財務状況等を重視して株式投資する」が約4割で最多
- ◎20代・30代の個人投資家は「長期投資」志向
- ◎50代以上の投資家は「分散投資」「(企業の)ガバナンス」を重視
- ◎2月の株式マーケットの回復展開で「株式投資手控え」マインドが低下

環境コミュニケーション会社である株式会社ツバルの森(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:三嶋浩太、以下「ツバルの森」)は、個人投資家を対象に、株式投資に対する投資行動に関する調査を実施いたしました。

調査手法はインターネットリサーチ(ツバルの森の個人会員等)で行い、調査期間は2012年1月30日(月)～3月1日(木)で、有効回答数は1,087名から得られました。

また、本調査は、回答者数に応じた森づくりプランを実施し、ツバルの森の森林再生活動へ活用してまいります。

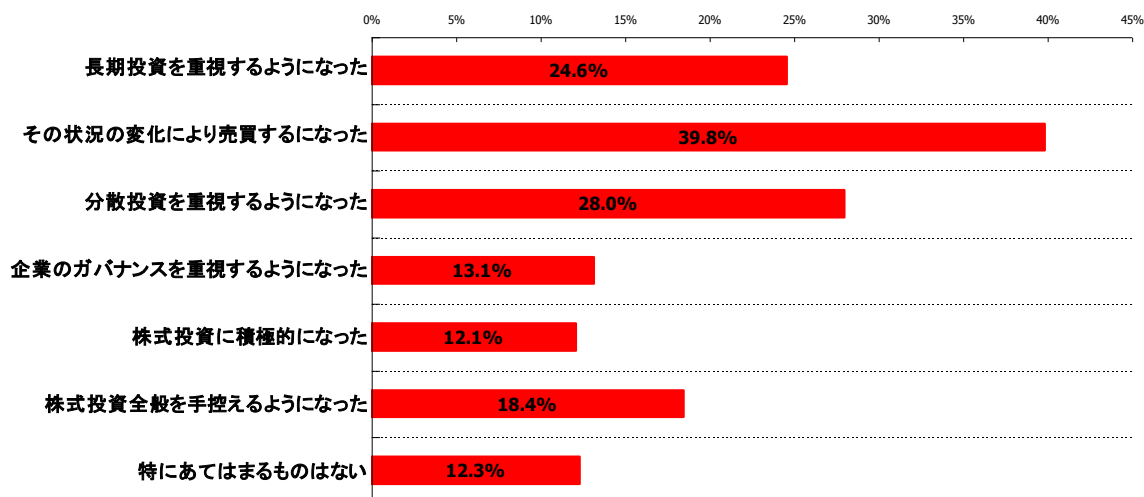
■調査概要

コンセプト	個人投資家の株式投資に対する投資行動に関する調査
調査方法	インターネットリサーチ
調査対象	ツバルの森主催の個人投資家向けイベント 「IRフォーラム2012大阪」お申込み者
有効回答数	合計1,087名 (性別:女性:300名、男性:725名) (年代:20代以下:24名、30代:78名、40代:182名、50代:150名、 60代:268名、70代以上:358名)
調査日時	2012年1月30日(月)～3月1日(木)
調査機関	株式会社ツバルの森

■ 調査結果

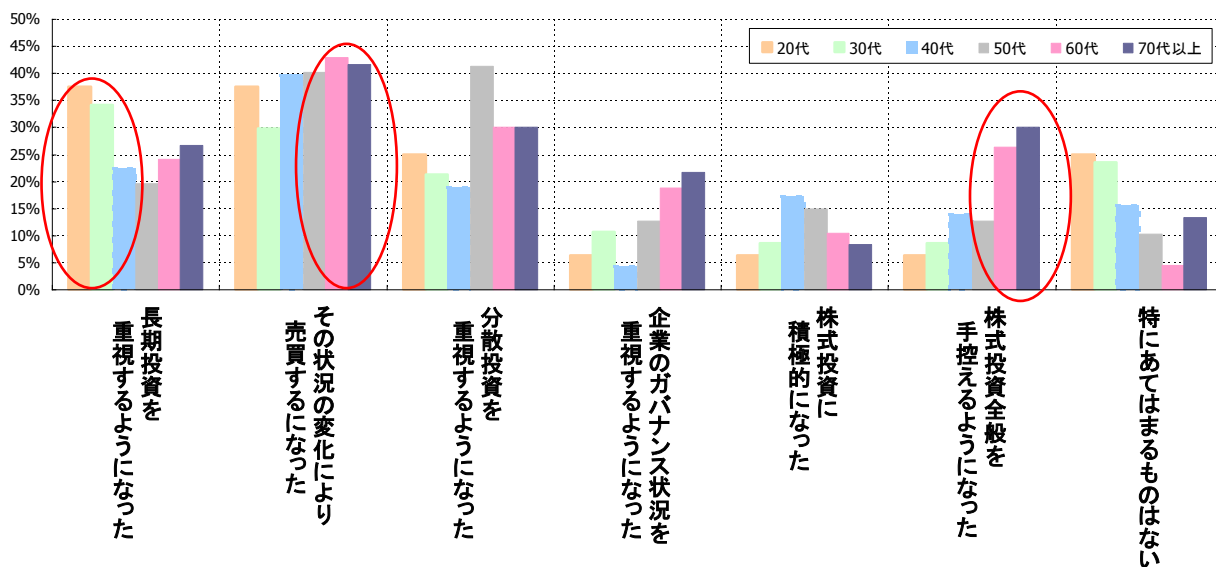
「(業績や財務状況等)その状況の変化により売買するようになった」「分散投資を重視するようになった」「長期投資を重視するようになった」の順で回答が多く、リーマンショックなどの金融不況や企業のガバナンス問題など、株式市場における問題が様々発生し、投資先企業の選別志向が高まっていると言えます。

Q. 昨今の株式市場では金融不況や企業のガバナンス問題などがあり、投資スタンスはどのように変化しましたか？(複数回答可)



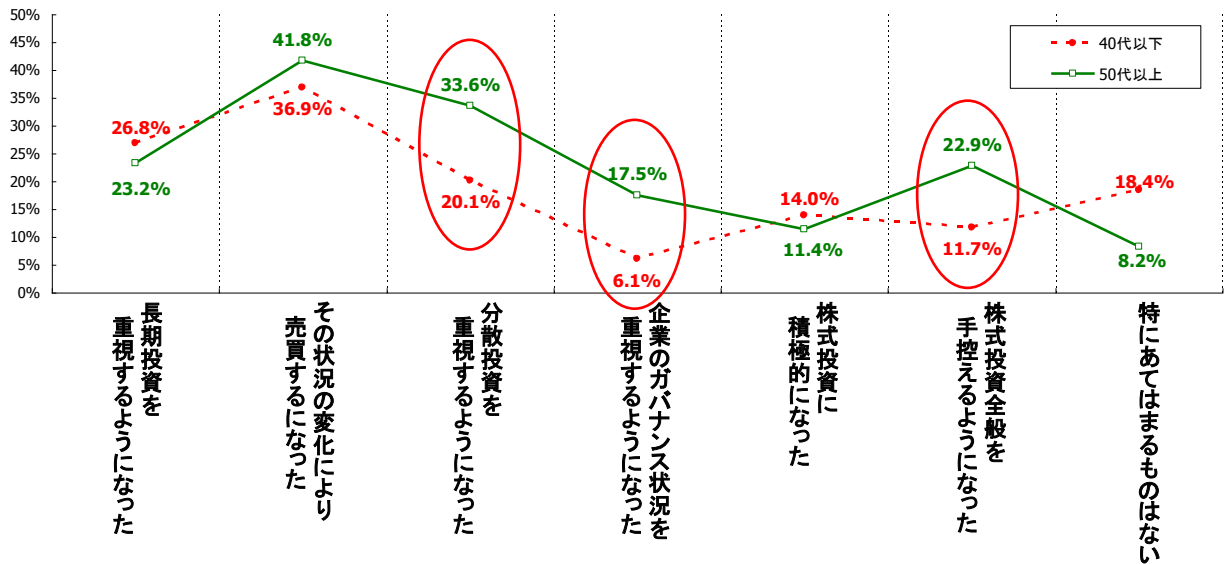
投資経験年数に長短により投資スタンスの変化が見られ、年代別でみると20代・30代において「長期投資を重視するようになった」の回答が多く、60代・70代において「(業績や財務状況等)その状況の変化により売買するようになった」「株式投資全般を手控えるようになった」の回答が多い結果となっています。

年代別での投資スタンスの比率



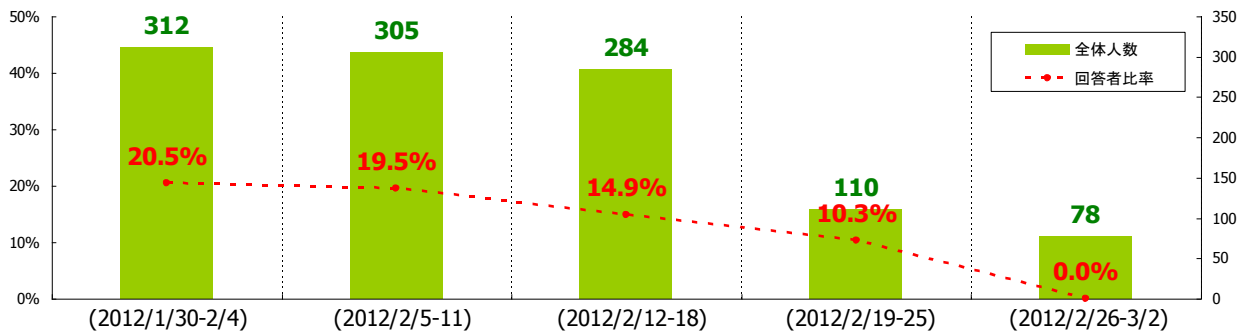
投資家層を若手・シニア層に分けてみると、「分散投資を重視するようになった」「株式投資全般を手控えるようになった」「企業のガバナンス状況を重視するようになった」の項目において、グループ差が大きく表れています。前項の結果と合わせると、年齢と逆行する投資期間の余裕度により、投資リスクの許容度の差が現れていると考えられます。

「40代以下」「50代以上」の年代グループ間での投資スタンスの比率



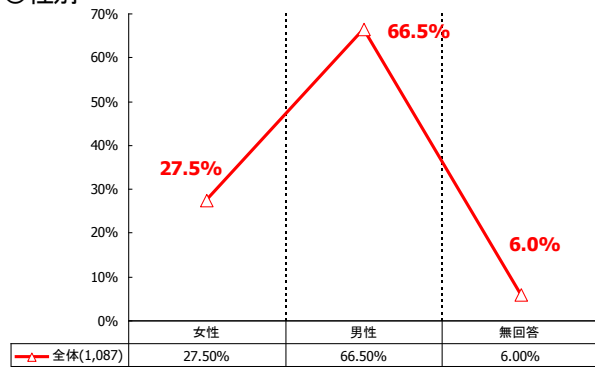
回答期間中、株式マーケットは急回復する場面となり、それに合わせて「株式投資全般を手控えるようになった」の回答者比率が減少しています。

1月末から3月上旬までの「株式投資全般を手控えるようになった」回答者比率の推移

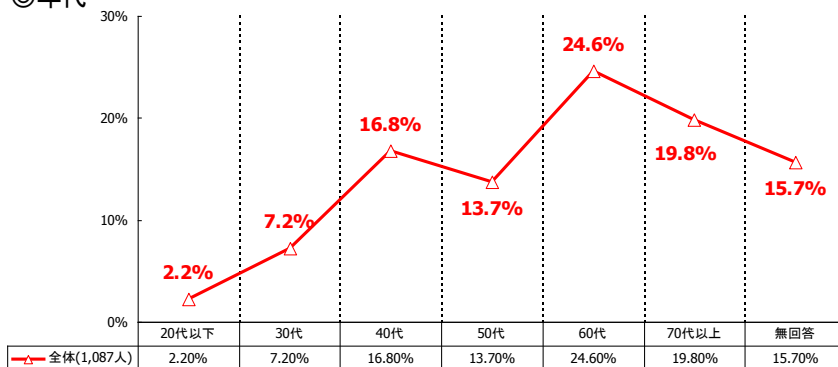


■基本属性

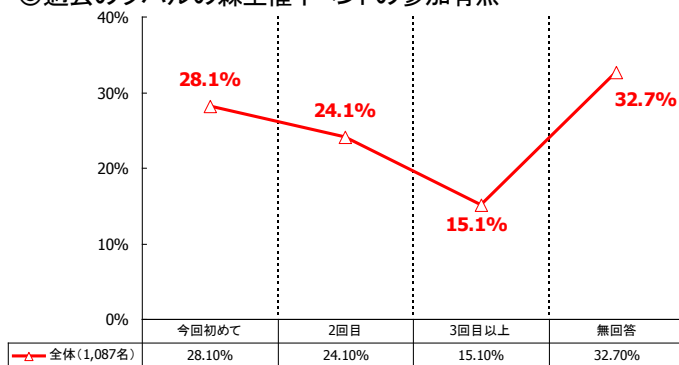
◎性別



◎年代



◎過去のツバルの森主催イベントの参加有無



以上

本記載の調査結果へのリンクはフリーです。データを引用する場合は、「ツバルの森」の調査であることを明記してください。

株式会社ツバルの森について

ツバルの森は、低炭素社会の実現を目指す、環境コミュニケーション会社です。環境メッセージを伝えたい企業・団体に、二酸化炭素(CO2)などの温室効果ガスの削減に貢献できる環境貢献活動と、販売促進、PR 活動、IR 活動などを組み合わせた環境コミュニケーションを提供しております。

- 名 称: 株式会社 ツバルの森
- 代 表: 代表取締役社長 三嶋 浩太(みしま こうた)
- 所 在 地: 東京都千代田区飯田橋 4-7-11
- 資 本 金: 2,300 万円
- U R L: <http://www.tuvalu-forest.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ツバルの森 広報担当 TEL. 03-6380-9939 E-mail. pr-ir@tuvalu-forest.com